

江 工 会 会 報

発行所
江 工 会

島根県江津市江津町1477
島根県立江津工業高校内
電話 (代) 0855-52-2120
郵便番号 〒 695-0011

平成24年東日本大震災を乗り越えて

会 長 室 安 延 博

(建築科 昭和三十一年卒業)



皆様、明けましておめでとうございます。とうございま

昨年三月十一日に、東日本に於いて大震災が発生し想像を絶する大津波により未曾有の大災害により死者行方不明者二八、五〇五人（八／四消防庁発表）となりました。実に阪神淡路大震災の六、四三七人の四・四倍以上の被災者ともなりました。心からの哀悼の意を捧げると共に早い復興を願うところです。また世界的エネルギー源である原子力発電で、福島原発の被害による放射能汚染と三重の苦しみを与えられました。今こそ、頑張れ東日本！頑張ろう日本と底力の出し所です。

来たる平成二十六年には、江津工業高等学校の開校八十周年を迎えます。学校・卒業生会（江工会）・工友会・学校後援会と全ての関係者の皆様により盛会な記念事業として計りたく存じます。会員の皆様には宜しくご協力の程お願いを申し上げます。

また、開校記念として事業の内容等に御意見がございましたらご連絡をお願い致します。

結びに、母校の発展と皆様のご健勝をお祈り致します。

現 況 報 告

校 長 古 藤 政 人



江工会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこ

ととお喜び申し上げます。平素より、本校の教育活動に格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

本学会長の室安延博様には、昨年の叙勲において、自治功勞により旭日小綬章受

章の榮に輝かれました。永年の功績を称えるとともに、心よりお祝い申し上げます。ますますのご活躍をご祈念いたします。

さて、今年度は東日本大震災等の影響もあり就職においては非常に厳しい年でした。軒並み求人数が減る中で、第一次合格率は八七％を超えることができました。十二月末

までには、ほぼ全員の内定を頂いています。これも、偏に江工会の皆様のお力添えのおかげと感謝いたしています。また、今年度の入学生は、三科合わせて五十五名と寂しい数でした。少子化の影響を受けたものですが、スクールバスによる生徒の送迎を行う周辺校が増えたことも影響しているように思えます。本校の寮生も現在十名で生活しています。時代の流れを感じざるを得ません。

しかし、このような流れに打ち勝ち入学生を増やすために、他にない本校の魅力を発信しなければなりません。今年度は、学校紹介紙の発行、中学生の体験入学、出前事業、郊外での実習作品展示等を行ってきました。さらにPTAの企画として、各地元のイベントで本校のエコカー展示を行っていただき、本校のPRに御尽力いただきました。

ところで、本校は平成二十六年に開校八十周年を迎えます。来年度には校内組織を立ち上げ、記念事業の検討に入りたいと考えています。記念事業の実施に当たり、江工会の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



学園祭のオープニング神楽

江工会 支部 だより

関東支部

ご挨拶

幹事 河野 一史
(建築科 昭和四十年卒業)



新年明けましておめでとうございませう。

江工会会員の皆様には御家族お揃いで健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

去年は災害に明け暮れた心の重い一年でした。三月十一日に発生した東日本大震災は、岩手・宮城・福島沿岸は高さ十メートルを超す大津波に襲われ破壊的被害を受け、死者行方不明者が二万人近くに上りました。福島第一原発での非常電源の喪失水素爆発メルトダウンにより深刻な被害を受けて緊急避難を余儀なくされ、住んでいた地域に帰れない人々、家族や親しい人を亡くされた人、住まいや生活の場を失った人々の悲



しみは如何ばかりかとお察し致します。震災の全容が分からない二日後三月十三日江工関東支部の総会と懇談会が開催されました。この様な非常時での開催については神楽のこと、会場や交通状況等悩んだ末の決断でした。被害に遭われたり電車不通により欠席された方が十三名おられました。

支部活動の一環として発足した「江工関東遊歩クラブ」

は幹事の金子さんが二十年九月に執務中突然体調を崩され、現在懸命にリハビリに励んでおられます。その後二十二年よりA40河野一史E47千代延武で継承する事を薦められ、二十二年春は「滝を眺め新緑の奥日光小田代ヶ原

を行く」秋には「足和田山よ

り富士山と五胡の眺望を楽しむ」二十三年春は、「玉原高原のブナ林で森林浴を楽しむ」秋は「草津白根の山懐に広がる湿原より草津温泉へ」今春は「南アルプスの偉容を眺め夜叉神峠で眺望を楽しむ」を計画しています。古里の野山を駆け回った子供の頃を思い出して気楽に参加してみませんか。

関西支部

同窓会のススメ

支部長 森 畑 昇
(機械科 昭和四十二年卒業)



江津工業高校卒業生の皆さん新年おめでとうございます。

ます。

去年は、東日本大震災という忌わしい天災、原発事故による災害は誰しもの心を痛める出来事でした。一方で女子サッカー「なでしこジャパン」の活躍は国民に勇氣と希望を与えられました。今年も、「幸せ」多かれと祈るばかりです。

団塊の世代と呼ばれる私の同輩も社会に巣立って、瞬く間に四十五年の月日が流れ、気が付けば高齢者の仲間入りをしてしまいました。六十四歳迄雇用延長を受けた人達も失業という悲しい現実を迎えているのです。幸いにも、今の六十代の人達はみな元気で、元氣なうちに体を動かし、筋肉を鍛えるのが賢明です。人間、足が弱ると行動範囲が狭くなり、ボケが始まるといわれています。七十五歳を過ぎて一人で一泊以上の旅行に行けるのは僅か四十%というデータがあります。残された人生を健康で、如何に楽しく生きるかが大きなテーマといえます。

我々、機械科四十一年卒業生は卒業時に紫園会(四十年

度4×10(しとう)、機械科(紫色)と命名し友好を深めて参りました。最近の五年間は毎年春と秋に一泊二日の

同窓会を開催しております。

中国の故事に「同門の朋有り、遠方より来たり、亦た樂しからずや」と有りますが、同級生と言う仲間が、お酒を飲みながら思い出を語り、カラオケで歌い、時には観光地の散策、マージャン、ゴルフ

をして童心に返って遊ぶ。実

に楽しいものです。去年は有志の手作りで紫園会の旗が出来上がりました。(※写真参照)皆様にも是非、同窓会の開催をお勧め致します。そこに参加すればきっと何かがあります。



平成 23 年 11 月 5 ~ 6 日 富士電機保養所「伊豆ソレイユ」

山口支部

新年を迎えて

支部長 吉 崎 錦 明
(建築科 昭和三十一年卒業)



会員の皆様新年明けましておめでとうございます。

昨年三月十一日東日本大震災で、大津波による被害、原発事故による放射能汚染、日



本列島を揺さぶる大被害が発生しました。今後の地震対策、大津波対策、放射能の除染等、国民が安心して住める街づくりが求められています。都会の経済発展に必要なエネルギーを過疎地に原子炉を設置してまかなう方法は、この度の原発事故により、安全神話は完全に崩れました。原子炉の設置により恩恵を受けた所もありますが、何も恩恵を受けていない場所まで放射能汚染の影響が出て不安を与えています。将来原子炉は廃止の方向で、太陽熱、風力、波、地熱等、自然エネルギーの活用の研究を深めるべきだと思います。

山口県で歴史を調べると吉田松陰、高杉晋作、伊藤博文、木戸孝允等色々な名前が出て来ますが、遠い昔の人と云うイメージがあります。そこで調べてみました。吉田松陰は天保元年（一八三〇）生まれ、高杉晋作は天保十年（一八三九年）生まれ、私は昭和十二年（一九三七）生まれです。高杉晋作とは九十八才の差でそんなに遠い昔ではないような気がしてきました。松下村塾での教えは十人一様の教え方でなく、各人各様の教え方を行ったそう

います。さて、江工会山口県支部総会は、昨年第五十回を迎えまして、総会を母校の江工会館で開催いたしました。本部の皆様には、大変お世話になりました。紙面をかりて、心からお礼申し上げます。旭温泉で一泊しまして、翌日、三瓶小豆原埋没林を観光し、約三五〇〇年前に三瓶山の大噴火が起き、杉の原木が火災流に飲み込まれた事を知って、噴火の様子を想像する事が出来口マンを感じました。たまには、一泊旅行を兼ねた総会を計画しては、との意見もあり、今後の参考にしたしたいと思います。

昨年三月十一日に発生した東日本大震災により多くの人命の犠牲を伴う甚大な被害が発生しました。さらに、この地震と津波による原子力発



副支部長 伊藤 延夫
(電気科 昭和四十年卒業)

平成二十三年を
振り返って

益田支部

江工会会員の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

です。「百点の力がある者が九十点をとった場合それは怠けた証拠であり、五十点の力がある者が五十点とった時は百点と同じ値打ちがある」と何かの本で読んだ事があります。金子みすずの「みんなちがつてみんないい」云う詩がありますが、それぞれの地域で昔から伝えられているお祭りとか、伝統行事を通じて絆を深め、各々を認め合いながら助け合いの心で暮らすことが大切であると思います。会員の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

電所の事故が発生し、被害が拡大、未だに多くの方々が避難生活を余儀なくされている状況であります。江工会会員の皆様の中に被災された方がいらっしやらなかったことを願っています。

さて、平成二十三年十一月二十五日（金）第八回支部総会を開催しました。出席者は二十二名でした。年々出席者数が微減傾向化しています。しかし、若い方の出席数は微増しています。益田周辺には高等学校が多く、江工と学科が重複しているため、地元思考には勝てないのか、生徒の確保に江工では苦慮されているようです。その上、少子化と卒業後都会への就職希望者が多くといったこととで近年OBの若者が当地で非常に少なくなっているなども原因かと思っております。今後、支部活性化するためには若者に会の中心に入ってもらい、新たな発想、パワーをもって会の団結力を、さらに高めることも必要かと感じています。

の現状について話を聞きました。学生進路希望状況、求人倍率は4.5倍（島根県0.98倍）就職内定率は90.4%（十月二十日現在）大変良い状況とのことでした。しかし、学生の確保が今後の課題だと説明がありました。



前年中止になった、ゴルフコンペをこの度は総会前の日曜日に開催し懇親会で表彰が行われました。今回はカラオケをする人が殺到し、お開きの予定時間を延長するなど大変盛り上がり閉会しました。さて、益田支部設立に多大なるご尽力され、設立から六

年間の永きに亘り、支部長として重責を担われました田渕直徳氏が平成二十三年十二月八日、満八十才の齢をもってご逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。会員の皆様にご報告致します。江工会本部の皆様は大変お世話になります。今後ともご指導宜しくお願い申し上げます。皆様のご健勝をお祈りいたします。

弥栄支部

就任にあたって



支部長 大谷 十三一
(工業化学科 昭和四十五年卒業)
明けましておめでとう
ございます。
平成二十四年

の初春をお迎えになり、心からお喜び申し上げます。

昨年は三月十一日の東日本大震災と大津波が発生し、多くの尊い命が奪われると共に、地域が壊滅的な被害を受けました。一刻も早い復旧・復興を心から願っています。

さて、私事この度第二十六回江工会弥栄支部総会におきまして、三浦寛章前支部長の後を受け、支部長に就任いた

しました。皆様方のご協力を頂きながら支部活動に務めて行きたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

現在、江工会弥栄支部会員二十一名、弥栄町は人口約千五百人規模の小さな町で、普段から地域の消防団活動などで顔を合わせることも多く、世代を超えた付き合いを行っているため、まとまりの良い支部だと感じています。

そのため、年一回の支部総会では、世代を超えて江工時代の思い出に花を咲かせて大いに盛り上がっています。総会の席に必ず登場するのが地元特産のどぶろくです。弥栄町はどぶろく特区認定地域で、現在三つの製造者がそれぞれの特徴のあるどぶろくを製造しています。また、昨今は、どぶろく饅頭の販売も開始しています。ぜひみなさん一度ご賞味ください。

地域の宣伝になつてしま



いしましたが、今後ともますます江津工業生並びに江工会員のご活躍とご健勝を心からお祈りし挨拶といたします。

江津支部

八十周年を機会に江津工業高校の魅力化と地域化を!!



事務局 横田 学
(工業化学科 昭和四十三年卒業)

本年度は、八十周年に向けて江津工業高校の地域

化・魅力化の取り組みについて学校とPTAと江工会が連携を密にして実ある取り組みへ!

昨年度の重点取り組みについて

① 関西支部年次総会出席、五月(浜田支部の上野氏)ビジネスコンテストに挑戦

② 関東江工会森山氏第二回(江津市活性化プラン提案)

③ 江工会室安会長の旭日小綬章(自治功労)の祝賀会に出席

④ PTA・学校との情報連絡会の開催

⑤ PTA・学校と江津・浜田市の市議会議員(江工会)

三者の情報交換会議開催
江工会会員同士の連携と若手会員の活躍の場作りによって、新たな江工会の活力を生み出していくことが重要と考えています。全国の江工会会員の皆様のご意見ご提案を頂きたいと思えます。宜しくお願い致します。



九州支部

新年を迎えての決意

支部長 大草 正
(建築科 昭和三十一年卒業)

江工会会員の皆様、明けましておめでとうございま

こととお慶び申し上げます。
昨年二月二十六日の九州支部総会には、濱田校長先生、室安会長、事務局の沖田先生の御出席を得まして、母校の現状等の説明聞き、盛大に行われました。

又昨年は、私達かつて経験したことのない大災害、又放射能汚染被害等多くの人が被災されました。いまだにたくさんの方不明の方達がおられる事、残念でなりません。心より哀悼の意を表します。

私達テレビで津波の恐ろしさ、破壊力の大きさを改めて知りました。私達建築にたずさわる者として、自然界の脅威の前には人間の無力さを感じました。

しかしながら我々は自然から学ぶべき事が多く、災害から早く立ち直り克服しなければと感じています。

私は江津工業高校(建築科)を卒業してから五十数年になります。

建築の仕事に従事し、いろいろな現場ですばらしい体験をさせていただきました。退職後はその経験をいかし今でも生涯現役として、体のつづくかぎり、世の為人の為何らかの形で貢献出来ればと、微力ながら努力していけたら

と、考えております。最後にになりましたが、母校の更なる発展と、江工会の会員の皆様の御健勝と御活躍を心よりお祈り申しあげます。



浜田支部

支部報告

支部長 松 浦 三 男
(電気科 昭和四十年卒業)



会員の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

浜田支部は、平成二十二年六月に再結成し、昨年六月

十一日に第二回総会を開催し二十九名(来賓含む)が出席しました。現在、支部会費納入会員は五十名ですが、次期総会(例年六月)は、役員改選を含め更に拡大に向け取り組んで参ります。

浜田支部は、当面年一回集うだけですが、今後色々な意見を取り入れ、「江工会会報」の配布や江工会本部との連携をはかり活動してまいりますのでご支援よろしくお願いいたします。

さて、私事ですが、同窓会の集いは、中学校時代のは卒業以来三年に一回程度は開催していますが、高校では電気科同学年の同窓会開催は一回のみであり、江津市内在住の同級生がいる内に開催に向け具体化を計りたいと思っています。

私は定年退職して今年三月末で五年になりますが、現役の内に退職後の自分の生き方を決めるべきと講座等で学びました。

しかし、退職してみると以前在職していた職場(昭和時代)に嘱託再雇用となり、民生委員・保護司・地域ボランティアの世話等々、現役時代にも増して忙しい毎日が続いています。

人から頼まれるとイヤと言えない性格から色々な事をしており、退職後に何がやりたかったのか分からない状況が続いています。



江津市役所支部

就任のごあいさつ

支部長 今 田 三 之
(工業化学科 昭和四十七年卒業)



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと存じます。

様には、健やかに新年をお迎えのことと存じます。

昨年は、三月に発生した「東日本大震災」と、それに続く福島第一原発事故が国内に未曾有の災害と不安をもたらしました。被災されました皆様には、改めて心よりお見舞い申し上げます。

本市においても震災後直ちに、市民の皆様のご協力を得る中で、被災地に義援金、支援物資を送り届けるとともに、職員の派遣等支援を行いました。今後の一日も早い復興を願うとともに本市においてもこれを教訓として防災対策を進めております。

こうした中、明るい話題として昨年、秋、「江工会」会長の室安延博様が自治功労による、旭日小綬章受章の栄に輝かれました。衷心よりお喜び申し上げます。

さて、私儀、大井恭二前支部長の後任として昨年、江工会江津市役所支部長に選任されました。若輩者の私ですが、伝統ある江工会江津市役所支部の発展に努力いたす所存であります。

何とぞ今後ともご指導、ご支援のほど心からお願い申し上げます。

私は桜江町出身で、平成十六年十月の合併に伴い、桜江出身者六名と共に「江工

会」に加入しました。合併時には四十八名の会員数でありましたが、現在の会員数は三十名となり、一時代には市幹部の殆どを占めていたと伺っておりますが、団塊の世代の退職等に伴い衰退の一途を辿っている状況にはあります。

こうした中、昨年十年ぶりに一名が加わり、久しぶりの明るい総会の開催となりました。

今日の厳しい状況下の中、本市においても第五次総合基本計画(後期計画)がスタートします。「元氣!勇氣!感動!江津 江の川が育むイキイキ協働体」の実現に向け、「質実剛健・不憊不屈」の校訓の精神のもと、少数精鋭ながら会員一丸となり、頑張つて参る所存であります。

終わりに会員の皆様の益々のご活躍とご健勝を心より祈念すると共に、今後とも江工会江津市役所支部の活動に対しご指導、ご支援をお願いします。



平成22年度 江工会一般会計決算書

【1】収入の部

費 用	本年度予算額	本年度決算額	増△減	摘 要
1. 繰越金	1,220,014	1,220,014	0	
2. 会費・入会金	918,000	910,581	7,419	平成22年度卒業生分、過年度分納入
3. 寄付金	10,000	20,000	△10,000	
4. 繰入金	0	0	0	
5. 雑収入	986	4,186	△ 3,200	名簿販売2名、利息
合 計	2,149,000	2,149,000	△ 5,781	

【2】支出の部

費 用	本年度予算額	本年度決算額	増△減	摘 要
1. 工業教育振興費	10,000	10,000	0	県高校工業教育研究会へ
2. 会報発行費	185,000	185,000	0	会報45号発行(2,500部)
3. 記念品費	35,000	29,400	5,600	卒業生84名角筒(卒業証書入れ)
4. 会館運営費助成	200,000	200,000	0	会館運営会計へ(TV整備)
5. 通信費	30,000	22,470	7,530	案内状、会報発送、他
6. 旅費	350,000	272,342	77,658	支部訪問、他
7. 会議費	200,000	125,172	74,828	支部総会出席
8. 慶弔費	20,000	23,590	△ 3,590	祝電、等
9. 雑費	30,000	20,500	9,500	広告料
10. 積立金	200,000	0	200,000	
11. 予備費	889,000	200,000	689,000	ボート部再建委員会へ助成 (渡津艇庫解体費)
合 計	2,149,000	1,088,474	1,060,526	

平成23年度 江工会一般会計予算書

費 用	本年度予算額	本年度決算額	増△減	摘 要
【1】収入の部				
1. 繰越金	1,066,307	1,220,014	△153,707	平成22年度繰越金
2. 会費・入会金	734,400	918,000	△183,600	平成23年度卒業予定者68名×900円× 12ヵ月
3. 寄付金	10,000	10,000	0	
4. 繰入金	0	0	0	
5. 雑収入	293	986	△ 693	
合 計	1,811,000	2,149,000	△338,000	
【2】支出の部				
1. 工業教育振興費	10,000	10,000	0	県高校工業教育研究会へ
2. 会報発行費	185,000	185,000	0	会報46号発行
3. 記念品費	25,000	35,000	△10,000	卒業生へ卒業記念品、卒業証書入れ
4. 会館運営費助成	150,000	200,000	△50,000	江工会館運営会計へ
5. 通信費	30,000	30,000	0	案内状、会報発送
6. 旅費	350,000	350,000	0	支部訪問、他
7. 会議費	200,000	200,000	0	本部総会、支部総会
8. 慶弔費	20,000	20,000	0	
9. 雑費	30,000	30,000	0	広告料、他
10. 積立金	0	2,000,000	△200,000	
11. 予備費	811,000	889,000	△ 78,000	H21年度より会費積立会計の運用方法変更
合 計	1,811,000	2,149,000	△338,000	

同窓会

九月二十四日

建築科 三十九年卒

平成二十三年九月リフレパークきんたの里にて十五名の参加にて開催しました。

当日は早朝よりゴルフコンペを有志で行い、宴会では石見神楽を久しぶりに堪能し盛り上がりました。

また、恒例の各自近況報告では日々の生活・健康とかの話が出来ました。今年は温泉津温泉で同窓会が計画されています。



23年度総会を開催

江津工業高校教職員OBで組織する工友会の総会および懇親会を十月二十二日にパレス和光で開催しました。

開会の前にロビーにて記念撮影を行いました。総会では平田義隆会長の挨拶に続き、江津工業高校より古藤校長の挨拶、高月総務部長より江工の現況を資料にて詳しく説明していただきました。

り組みをされています。来年度たくさんの生徒が入学してくることを願っています。また、進路についても景気低迷の中旬の内定と聞き、生徒の頑張りに安堵すると同時に私たちも教職員OBとして江工の良さを地域にアピールする一助となればと思いましたが。その後、高木副会長の乾杯の音頭で懇親会となり近況報告やマジック・健康情報交換をし、楽しく意義ある会となりました。



工友会事務局 佐々木文人

工友会だより

生徒数減少の中、生徒募集の方策として、ホームページの充実、江工新聞の発行、出前授業や地域に出かけての作品展・ロボット教室などの取り組み等々、多くの取

室安延博江工会長叙勲祝賀会

室安延博江工会会長（A31卒）におかれましては、平成二十三年秋の叙勲において、地方自治功労者として「旭日小綬章」受章の栄に浴されました。

この受章を記念して、平成二十三年十二月二十四日地元江津市の「会館吾妻」において関係者約百人が出席して盛大に祝賀会が行われました。



受章された室安延博江工会会長は、平成二年四月江津市議会議員に初当選され、以来五期二十年間連続当選を果たされ、この間江津市議会議長等の要職を務められるなど、江津市政の発展のため多大なるご貢献を果たされたご功績が認められ、今回の授章になりました。

室安延博会長は、江津市議会議員の傍ら、島根県水泳連盟会長など多くの要職を務められており、平成十四年四月からは我が母校の江工会会長に就任されており、我々江

祝賀会は、島根県水泳連盟会長水津卓夫氏が発起人を代表し挨拶をされ、来賓として田中増次江津市長、藤間恵一島根県会議員、砂田忠江工会副会長がお祝いの挨拶を述べ、永井良三江津商工会議所会頭の乾杯の音頭で祝宴に入りました。



室安延博江工会会長は、この祝賀会の中で今後は、今まで苦労をかけた奥さんを「政子さん」と呼び、「ボランティアで地域社会に貢献する。」「最後は皆なに迷惑をかけないよう、ピンピンコロリ。」と力強く今後の決意を語られ祝賀会は大きく盛り上がりました。江工会からは古藤政人校長のほか、上手武光（C35卒）、松浦三男（E40卒）副会長など十名の関係者が出席しお祝いの言葉を申し上げました。さらに、江津市議会議員（定員十六名）の三分の一近くを占める、五氏の江津工業高校出身議員からも祝福の言葉が述べられ、祝賀会はさらに盛り上がりました。

事務局だより

平成二十三年一月～十二月

(二〇二一年(平成二十三年))

二月一日

会報第四十五号発行

県内外各支部、卒業生在籍地元企業、現旧教職員、在校生、同期会等に配布。

二月二十六日 九州支部総会

大草正支支部長はじめ会員十四名の出席、山口支部からも二名が参加された。

総会では、本年の事業・決算が報告され、懇親会では

校長より、学校状況を説明され、昔と変わった母校を映像で見えていただいた。

本部より室安会長・濱田校長・沖田事務局員が出席

二月二十八日 新卒者入会式

江工会入会者(平成二十二年年度卒業生八十四名)

本校元校長の高野武士氏より「人生の応援歌」と題して卒業を控えた生徒たちに、自分の経験を元に熱のこもった講話を頂きました。

三月十三日 関東支部総会

塚本清支部長はじめ会員七十六名の出席。地震の影響で開催が危ぶまれましたが八十歳を超える年長者から十九歳の若者まで一堂に

集いすばらしい総会となりました。

また、今回の地震で被災された皆様の社会復興に向けて頑張っているという意気込みが強く感じられました。

なお、総会では役員改選が行われ、新支部長として西村和也氏(建築科四十七年卒)が決まった。本部より室安会長・高月事務局長が出席。

四月十六日 山口県支部総会

吉崎錦明支部長はじめ会員二十三名の出席(担当II徳山地区)。第五十回記念総会として、母校において開催した。懇親会は、満開のさくらで彩られた旭温泉のホテル川隅で行われ、アトラクションとして吉崎錦明

支部長のハーマニ演奏に始まり、会員によりカラオケ大会等で大いに盛り上がりました。本部より室安会長・古藤校長・高月事務局員が出席。

四月二十八日

津江市役所支部総会

大井恭二支部長はじめ会員約三十名の出席。二年の任期を経て、支部役員の改選が行われ、新支部長として、今田三之氏(工化四十七年

卒)が選出された。今年は新人二名が入り盛り上がり

た。その後、懇親会に移りアトラクションとして退職者の共演による石見神楽が上演され、大変に盛り上がり、最後に応援歌・校歌を熱唱、締めとなりました。

本部より高月事務局長が出席。

五月十六日

江工会理事会・総会

二十二年事業・決算報告、二十三年事業・予算審議。すべての議案が承認された。総会や懇親会に遠く

は益田市・浜田市・川本町から、三十名の出席があった。学校からは古藤校長・舟木教頭らの出席で親交を深めることができました。

六月四日 関西支部総会

橋目福司支部長はじめ会員七十一名の出席、来賓として関東支部から三名・江津支部一名の出席。

総会では、事業報告・決算報告等が行われ、新支部長として森畑昇氏(機械科四十一年卒)が選出された。懇親会では、アトラクションとして有福温泉神楽団による石見神楽や恒例の石見鯖寿司の販売で大いに盛り上がり

本部より室安会長・古藤校長・高月事務局長が出席。

六月十一日 浜田支部総会

松浦三男支部長はじめ会員二十七名の出席。二年目を迎え、浜田地区の若い会員をいかに支部に引きこんで行くかが話題になった。今年度は事務局の若い二名も参加して盛り上りました。

本部より室安会長・高月事務局長・事務局員二名が出席。

八月二十七日

弥栄支部臨時総会

臨時総会を開催し、役員を改選。新支部長として大谷十三二氏(工化科四十五年卒)が選出された、理事・幹事は留任となりました。

十一月二十五日

益田支部総会

佐々木忠之支部長はじめ会員二十五名の出席。総会では活動(事業)や決算が報告されました。

懇親会では、支部から旭日小綬章を受章された室安会長へ記念品が贈呈され、支部立ち上げからご尽力くださった前支部長田淵氏に本部より感謝状が贈呈されました。

本部より室安会長・古藤校長・沖田事務局員が出席。

計 報

謹んでお悔やみ申し上げます

元校長

高宮 龍郎

旧職員

金子 清治(電気)

会員

田淵 直徳(建築26年卒)

奥野 剛平(建築32年卒)

宮崎 利幸(建築32年卒)

田中 寿人(建築47年卒)

石田 哲也(機械42年卒)

編集後記

多忙な折、快くご寄稿いただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

おかげさまで第四十六号を発行することができました。

一面の写真は学園祭のオープニングで神楽を生徒が舞っている姿です。隔年で行われていた文化祭が昨年度より毎年開催となりました。今年度は、生徒会企画で様々な催物を楽しみ、午後からは「ハジ・ことのはライブ」があり大いに盛り上がりました。ぜひ、皆様の御来校をお待ちしております。

なお、今後とも、会報に対しましてご意見、情報等(同窓会報告、会員消息等)がございましたら事務局へご連絡をお願いいたします。